



令和7年度

第1回臨時評議員会議事録



令和8年2月24日

公益財団法人北海道学校給食会





公益財団法人北海道学校給食会
令和7年度第1回臨時評議員会議事録

- 1 開催日時 令和8年2月24日(火) 13時24分～14時03分
- 2 開催場所 公益財団法人北海道学校給食会 1階研修室
- 3 評議員総数及び定足数
評議員総数 9名 定足数 5名
- 4 出席者数 9名 (うち評議員6名)
(出席評議員)吉本 将樹、小川 佳恵、椿野 次雄、先名 孝亘、森 靖明、長島 博子
(欠席評議員)藤井 壽夫、長谷川 孝雄、田邊 芳明
(出席監事)遠藤 昭一
(出席理事)松本 邦由、花田 誠

5 議題

(1)決議及び承認事項

- 第1号議案「令和8年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込」の件
- 第2号議案「定款の変更」の件

(2)報告事項

- 報告事項1 会計規程の一部改正について
- 報告事項2 就業規則の一部改正について
- 報告事項3 理事長及び常務理事の職務執行状況について

6 議事の経過及びその結果

(1)議長の選出と定足数の確認等

定款第18条第5項の規定に基づき、出席評議員の互選により森評議員を議長に選出し、議長は冒頭で、評議員現在数9名中6名の出席、欠席3名であること、したがって定款第19条第1項の規定により定足数に足る5名以上の出席であることを確認した。

次に、議事録への記名押印について、定款第22条第2項の規定により、議長に加え議事録署名人として、小川評議員、椿野評議員を選出し議案の審議に移った。

(2)議案の審議状況及び議決結果等

○決議事項

第1号議案 「令和8年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込」の件
事業計画書について太田事務局長から、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込について佐藤総務課長から説明があった。

初めに事業方針について、公益財団法人北海道学校給食会は、学校給食が児童生徒の心身の健全な発達に資し、かつ、児童生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で、重要な役割を果たす学校給食法の目的及び食育基本法の理念を踏まえ、教育委員会などの関係機関、関係団体と緊密な連携を図りながら、食育の推進を支援するとともに、安全・安心な学校給食用物資を安定的に供給するという観点に立って、各種事業を実施するとの説明があった。

次に、項目ごとの説明があった。

<公益目的事業1「食育の推進を支援する事業」>

① 各種研究大会の実施

学校給食における食育指導の中心的な役割を担う栄養教諭・学校栄養職員等及び子どもたちを対象として、食育に関する各種研究大会等を関係機関、関係団体と連携を図りながら実施。

② 学校給食研究団体等への助成

学校給食の充実及び食育推進のための事業経費を助成。

③ 施設設備・教材等の貸出

研修会の会場等として研修室、食育指導に使用するレプリカ、バイキング給食用食器具、研修や食育指導用のDVD等、献立システムを無償貸出。

④ 研修会等への講師派遣

市町村教育委員会等の要請により、研修会等に専門職員等を派遣。

⑤ 情報発信

ホームページの活用や広報誌「いただきます」を年4回編集・発行し、学校、教育委員会等へ配付。

<公益目的事業2「安全・安心な学校給食用物資を安定的に供給する事業」>

① 学校給食用物資の安定供給

常に良質で安全な物資を安定的に供給するとともに、価格の安定に努める観点から学校給食用物資の安定供給に取り組む。

玄米、小麦粉については、北海道産100%とし、市町村等の学校給食の実施に不足が生じないように確保し、安定的に供給。

一般物資(副食等)については、道内産、国内産を主原料とした安全で良質な物資の取扱いの充実に努め、安定的に供給。

年間需要見込みに基づく、一括購入による物資確保により、適正、かつ、より廉価な物資を供給。

② 学校給食用物資の安全性確保

自主細菌検査の実施、検査器具の貸出、研修会の実施及び講師派遣、加工委託工場及び取扱物資製造工場への衛生管理に係る実地調査、加工委託工場を対象としたパン品質審査会の実施。加工委託工場に対する衛生管理事業助成を措置。

<法人管理>

事業計画策定上の基礎となる数値である学校給食の対象となる児童生徒数の推計を示した。

令和8年度における評議員・理事・監事及び事務局の職員の体制を示した。

<収支予算>

令和7年4月、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の改正施行に伴い、公益法人会計基準が見直され、「活動計算書」に対応できる内容となるよう収支予算書の様式を変更したとの説明があった。

令和8年度収支予算については、令和7年度に比べ、収益については物資安定供給事業の売上収益増と見込み、経常収益計76億6,062万円とし、費用についても物資安定供給事業の買入費用増となる見込みから、経常費用計76億4,273万円とし、立案し予算を立てた。

前年度予算比では収益・費用ともに約14億円増となる見込みである。

経常収益では、特に物資安定供給事業の米の買入価格上昇に伴い供給価格を引き上げることから、収益増と見込んだものである。

一方、経常費用では、物資安定供給事業に係る米の買入価格や、加工賃、新施設にかかる光熱費、固定資産税等の上昇分を費用増と見込んだものである。
なお、資金調達及び設備投資の見込みについては、令和7年6月に竣工した管理棟・倉庫棟新築工事等に係る施設整備事業費の財源としている札幌市補助金(札幌圏設備投資促進補助金)の補助金額が見込額を下回った場合に財務状況を総合的に考慮した上での不足額に応じた借入などについて、説明があった。

第2号議案「定款の変更」の件

事務局から、「定款の変更」により、議案の説明があった。

審議の結果、「定款の変更」を出席理事全員一致で可決した。

○報告事項

報告事項1 会計規程の一部改正について

事務局から、会計規程の一部改正についての報告が行われた。

報告事項2 就業規則の一部改正について

事務局から、就業規則の一部改正についての報告が行われた。

報告事項3 理事長及び常務理事の職務執行状況について

令和7年度における食育推進事業及び安全・安心な学校給食用物資の安定供給事業についての報告が行われた。

① 理事長の職務執行状況

北海道学校給食研究大会を共催にて江差町で開催し、その他子ども給食教室及び北海道学校給食コンクールを開催し、研究団体等への助成、施設、教材等の無償貸出については、例年どおり行った。

情報発信については、ホームページにおける情報発信や学校給食広報誌「いただきます」を発行した。

主食・副食用物資の供給状況については、ほぼ計画どおりの進捗。

また、安全性の確保については、自主衛生検査や実地調査及び衛生管理事業助成の実施、学校給食用パン品質審査会を開催した。

② 常務理事の職務執行状況

会議等への出席状況、契約・支出の状況、規程の改正状況について報告した。

以上をもって議案の審議、報告を終了し、議長は閉会を宣し、解散した。

以上、本会議の顛末を記録し、その確実を証するため、ここに記名押印する。

令和8年2月24日

議長 評議員 森 靖明 

議事録署名人 評議員 椿野次雄 

評議員 小川佳恵 

本議事録の作成にかかわる職務を行った者の氏名

公益財団法人 北海道学校給食会

事務局長 太田良則

